



平成28年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年1月12日

上場会社名 株式会社パスポート 上場取引所 東  
 コード番号 7577 URL <http://www.passport.co.jp>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 水野 純  
 問合せ先責任者（役職名） 常務取締役管理本部長（氏名） 久保田 勝美 (TEL) 03(3494)4497  
 兼総合企画部長  
 四半期報告書提出予定日 平成28年1月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第3四半期の業績（平成27年3月1日～平成27年11月30日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第3四半期	7,964	△1.9	50	—	23	—	△29	—
27年2月期第3四半期	8,119	△12.9	△253	—	△312	—	△298	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年2月期第3四半期	△5.94		—					
27年2月期第3四半期	△59.01		—					

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
28年2月期第3四半期	5,742	—	592	—	10.3	
27年2月期	5,599	—	646	—	11.5	

(参考) 自己資本 28年2月期第3四半期 592百万円 27年2月期 646百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	5.00	5.00
28年2月期	—	0.00	—	—	—
28年2月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の業績予想（平成27年3月1日～平成28年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,300	0.1	200	—	150	—	50	—	9.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

28年2月期3Q	5,270,000株	27年2月期	5,270,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

28年2月期3Q	218,981株	27年2月期	218,981株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年2月期3Q	5,051,019株	27年2月期3Q	5,051,019株
----------	------------	----------	------------

発行済株式数に関する注記

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続きは終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)業績予想の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策を背景に、企業収益や雇用環境は緩やかな回復基調にあります。しかしながら、中国をはじめとするアジア新興国経済の減速懸念により、景気の先行きは依然として不透明なものとなっております。

個人消費につきましては、一部にインバウンド効果は見られますが、円安や海外製造コストの上昇に加え、暖冬により季節商品の動きは緩慢で、総じて一進一退の状況で推移しました。

このような環境のもと、当社はお客様に選ばれる店舗を目指して『MDリフォーム（品揃え改修）』や、『C/S（お客様満足）向上』に取り組んでまいりました。その結果、当第3四半期会計期間の直営既存店の売上前年比は101%で、回復基調を維持しましたが、季節の品揃えの柱になる直輸入のオリジナル商品の売上は、気温が下がらない中で停滞してきております。しかし、一方でオリジナルキャラクターの「はんなり豆腐」を使った商品群は品種が拡充され、特にネット通販の売上は高い成長率を維持しております。

当第3四半期累計期間の出退店の状況は、直営店が「P3style by Passport」ブランドで1店舗。「Passport」ブランドで2店舗出店し、「Passport」ブランドで6店舗退店いたしました。

フランチャイズ店は「Passport」ブランドで1店舗退店しております。また、「Passport」ブランドで直営店4店舗を改装いたしました。その結果、当第3四半期会計期間末の店舗数は、直営店が147店舗、FC店が14店舗で計161店舗となりました。（尚、当第3四半期会計期間末の店舗数には含まれておりませんが、池袋サンシャインシティアルタに短期契約による催事店舗を「Passport」ブランドで出店しております。）

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は7,964百万円（前年同四半期比1.9%減）、営業利益50百万円（前年同四半期は253百万円の営業損失）、経常利益23百万円（前年同四半期は312百万円の経常損失）、四半期純損失29百万円（前年同四半期は298百万円の四半期純損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産

当第3四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べて142百万円（2.5%）増加し、5,742百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べて326百万円増加し、3,670百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が71百万円、商品が185百万円、未着商品21百万円、その他が未収入金の増加などにより52百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて184百万円減少し、2,071百万円となりました。これは、主に有形固定資産が35百万円、無形固定資産に含まれるソフトウェアが44百万円、敷金及び保証金が95百万円減少したことによるものであります。

#### ②負債

当第3四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べて196百万円（4.0%）増加し、5,150百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末と比べて274百万円増加し、3,679百万円となりました。これは、主に1年内償還予定の社債が45百万円減少したものの、短期借入金が325百万円、1年内返済予定の長期借入金が90百万円増加したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末と比べて77百万円減少し、1,471百万円となりました。これは、主に長期借入金が増加したものの、社債が305百万円、リース債務が38百万円減少したことによるものであります。

#### ③純資産

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ53百万円（8.3%）減少し、592百万円となりました。

これは、主に四半期純損失を29百万円計上したことと、25百万円の配当により資本剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期の業績予想につきましては、平成27年4月13日に公表いたしました予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性がありますことをご了承願います。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

当第3四半期累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年11月30日)
<p>当社は、短期借入金のうち、動産担保融資契約に基づく700,000千円には遵守事項があり、その内容は次のとおりであります。</p> <p>(1) 各事業年度末時点での貸借対照表における純資産額を平成21年2月期決算期末時点の金額の75%以上(761,568千円以上)に維持すること</p> <p>(2) 各事業年度末時点での貸借対照表における棚卸資産の回転月数を2.0ヶ月以下に維持すること</p> <p>(3) 各事業年度末時点での経常利益について、2期連続でマイナスとしないこと</p> <p>前事業年度末は、これらの遵守事項の一部に抵触致していますが、当第3四半期累計期間におきましては、取引銀行からは上記状況を認識いただいた上で、既存借入金の融資継続に応じていただいています。また、第1四半期会計期間に取引銀行より530百万円の長期借入金を調達しております。</p>

### 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、前事業年度において重要な営業損失の発生および営業キャッシュ・フローのマイナスにより、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が見受けられます。

しかしながら、当社はこれらの事象又は状況を解消又は改善すべく、これまで進めてまいりました「MDリフォーム（品揃え改修）」の取り組みを一段と強化いたしました。さらに、収益性の改善に向けて、店舗及び商品センターの在庫圧縮に取り組み、物流関連コストの削減を中心に、これまで進めてまいりました経営体質改善にも積極的に取り組んでおります。

当第3四半期累計期間におきましては、営業利益のマイナスという状況からは脱却できておりますが、「MDリフォーム（品揃え改修）」「C/Sレベルアップ」「コスト削減」を引き続き推進することで、収益力の安定化を図ってまいります。

資金面に関しましては、取引金融機関からの継続的な支援協力を得ており、第1四半期会計期間に調達した長期借入金530百万円のほか、短期的な借入による運転資金の調達をしており、今後とも資金調達や資金繰りの安定化に努めてまいります。

以上により、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成27年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	995,369	990,475
受取手形及び売掛金	511,105	583,024
商品	1,645,956	1,831,615
未着商品	40,295	62,110
その他	150,954	203,419
流動資産合計	3,343,681	3,670,644
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	366,477	351,832
工具、器具及び備品(純額)	123,845	97,443
その他	15,998	21,275
有形固定資産合計	506,321	470,550
無形固定資産	145,669	101,120
投資その他の資産		
破産更生債権等	6,399	—
敷金及び保証金	1,548,432	1,453,131
その他	55,781	46,713
貸倒引当金	△6,399	—
投資その他の資産合計	1,604,213	1,499,845
固定資産合計	2,256,204	2,071,515
資産合計	5,599,885	5,742,160
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,456,743	1,453,849
1年内償還予定の社債	440,000	395,000
短期借入金	804,980	1,130,000
1年内返済予定の長期借入金	115,700	206,000
リース債務	62,105	51,084
未払法人税等	35,263	23,927
賞与引当金	28,760	47,170
その他	461,290	371,974
流動負債合計	3,404,843	3,679,005
固定負債		
社債	720,000	415,000
長期借入金	253,500	542,000
リース債務	67,614	29,217
退職給付引当金	263,734	265,378
資産除去債務	160,195	158,821
その他	83,956	60,584
固定負債合計	1,549,000	1,471,003
負債合計	4,953,844	5,150,009



(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期会計期間 (平成27年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	369,266	369,266
資本剰余金	292,300	267,045
利益剰余金	33,400	3,403
自己株式	△60,552	△60,552
株主資本合計	634,414	579,162
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,627	12,989
評価・換算差額等合計	11,627	12,989
純資産合計	646,041	592,151
負債純資産合計	5,599,885	5,742,160

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
売上高	8,119,183	7,964,788
売上原価	4,014,948	3,901,428
売上総利益	4,104,234	4,063,360
販売費及び一般管理費	4,357,259	4,012,534
営業利益又は営業損失(△)	△253,024	50,826
営業外収益		
受取利息	129	73
受取配当金	238	289
破損商品等弁償金	129	194
受取補償金	—	2,100
保険配当金	2,307	6,219
雑収入	3,032	2,926
営業外収益合計	5,838	11,802
営業外費用		
支払利息	22,595	27,123
社債発行費	7,680	—
支払手数料	8,405	6,460
為替差損	26,833	4,655
雑損失	121	939
営業外費用合計	65,635	39,179
経常利益又は経常損失(△)	△312,821	23,448
特別損失		
固定資産除却損	568	10,450
店舗閉鎖損失	22,653	10,960
減損損失	20,060	5,828
特別損失合計	43,282	27,239
税引前四半期純損失(△)	△356,104	△3,791
法人税、住民税及び事業税	21,600	21,000
法人税等調整額	△79,664	5,205
法人税等合計	△58,064	26,205
四半期純損失(△)	△298,039	△29,997

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、インテリア雑貨販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。